

土砂災害を防ぐためにできること

木城学園

六年

壹岐^{いちぎ}寿之輔^{いのすけ}

ぼくが住んでいる宮崎県は、夏に台風が来ることも多い地域です。台風が来るたびに、土砂災害の警戒情報が出たり、実際に土砂災害が起こったりするのをニュースで目にするものがあります。そこで、なぜ土砂災害が起こるのか、なぜ防ごうとできないのか調べてみました。

まず土砂災害がなぜ起こるのか調べました。そこで分かったのが、土地と雨の関係です。もろい地質だ、たり、山、谷、かけや、木が少ない所などに台風が集中した雨が降ると土が水を吸いきれなくなると、土砂が崩れ落ちることによって災害を引き起こします。

二〇二〇年に椎葉村で、起きた土砂災害によつて住居が土砂で押し流され全壊したり、安否不明者が出るなどの被害を出しました。このように土砂災害は一瞬でなにもかもを飲みこんでしまふ恐ろしい災害です。

このような恐ろしい災害を防ぐためにできることはないか考えてみました。

まず、道路や住居などに面している斜面を補強することです。これをするこゝとび、少しでも被害をおさえることができると思いますが、次に、山の斜面に根の張る木を植えることです。これもすることゝ、地中で水を吸ってく木たり、土砂が流れるのを防いぐれると思います。

しゝがい、それでも土砂が防げない時もあると思うので、自分で身を守る対策が必要だと思ひます。

まず、自分の住人である地域が、土砂災害警戒区域かどうかを確認することです。もし土砂災害警戒区域だゝたら、ハザードマップを見ゝ避難場所や避難経路を知ゝておく必要があると思ひます。

次に、土砂災害警戒情報に注意することゝです。これは、市町村長が避難指示を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるような防

災情報です。この水が、レベル4になったら、
全員避難です。家族や地域の方々に声をかけ
あい、安全な場所に避難しましょう。去年寄
りや障害のある人など避難に時間がかかる人
は、移動時間を考えて早めに避難するとよい
そうです。土砂災害が起きる前の前兆現象に
も注意が必要です。主な前兆現象は、かけの
ひび割れや地鳴り、井戸や沢の水がにごった
り、樹木が傾くなど、いつもとちがうことが
起きたらすぐに避難した方がいいかもしれません
せん。

今回土砂災害防止について調べて分ったこ
とは、土砂災害は一瞬で多くの物をうばって
しまうけど、災害に対する知識や対策をとっ
ていれば命は助かるということです。この水か
ら台風がたくさん来る季節になりますから、少
しでも多くの人に土砂災害についての対策を
をしてほしいです。大切な人の命を守るため
に一人一人が日頃から備えておくことが大切
だと思います。まずは、自分が住んでいる地

域が安全が確認していただくさい。